

報告

を報告します

委員会

各常任委員会の活動状況

- 2月5日(木) 総務文教常任委員会
- 調査件名
 - 広野駅周辺開発について
 - 給食センターの改築について
 - 所管施設の調査について
 - ・二ツ沼総合公園 (パークギャラリー、風車、バーベキュー広場)

- 2月6日(金) 産業厚生常任委員会
- 調査件名
 - 林業専用道整備事業(狼山叶沢線)について
 - 空き家対策について
 - 土砂採取区域森林機能回復事業

広野駅周辺開発

● 駅東ニュータウン
区画の販売状況は、47区画中、売却済みが3区画、商談中が4区画で、取扱店に月に4〜5件の問い合わせがある状況との説明を受けました。

また、ニュータウン内の公共施設用地又は駅東側産業団地内に飲食店の店舗として利用するためのトレーラー

● 新広野駅舎
広野駅交流施設整備の状況は、全体行程の中で初期から中盤工程に当たる作業が概ね計画どおり進捗しており、令和8年3月の完了を目指して施工しているとの説明がありました。

二ツ沼総合公園

● パークギャラリー
平成11年度に建築され、県から譲渡を受け、令和7年度で26年が経過している施設で、現在はアトイベント等での使用、復興知事業に係る町内拠点として東日本国際大学、福島高専に部屋を貸し出しているとの説明を受けました。

● 風車
平成3年度に設置され、令和7年度で設置から34年が経過しており、故障により回らない状態であるとの説明を受けました。

● バーベキュー広場
平成2年度に設置され、現在も要予約で使用可能であるものの、

● 施設の改修等
木製の机や椅子が腐食により使用できない状況になっており、また、住民からもあまり認知されていない状況との説明を受けました。

● 施設の改修等
いずれの施設についても改修等には補助が必要と考えている旨の説明を受けました。

給食センターの建設

● 新給食センター
給食の提供を令和8年1月9日から開始したとの説明を受けました。

● 旧給食センター
解体工事は、3月20日までの工期で実施しており、1月末現在で全体の約25%の進捗状況との説明を受けました。

● 地場産品の活用、農業振興等をさらに推進できるように、各課で連携して取り組むよう要望しました。



新広野駅舎の様子



バーベキュー広場にある腐食している机や椅子の様子

林専用道狼山叶沢線

● 整備状況
6工区については、令和7年11月21日に工事が完了したとのことでした。

7工区については、令和8年1月末現在の進捗率は45%で令和7年度内の完了は困難な状況のため、進捗率約50%分を令和8年度に繰り越す協議を県と進めているとのことでした。

● 各工区の工期の設定については、単年度事業の補助金を活用している都合上、当初として、交付決定や議決を経てから年度末までの約半年間の工期しか確保できず、繰越を伴う工期延長をせざるを得ない状況とのことでした。

土砂採取区域森林機能回復事業

● 事業目的
福島県の林地開発と土砂採取事業の許可を取得して実施していた折木地区土砂採取事業が硬質な岩盤の出現により途中で中止となったため、跡地の森林機能を回復させ、土砂採取事業を安全に完了させることを目的として、令和7年5月から着工し、令和7年度内には全ての工程が完了する予定とのことでした。

● 事業内容
法面及び計画高が岩盤となる箇所については、植生基材吹付を施工し、造成森林は客土を土質検査した結果、土を土質検査した結果から、採取土として使用する等した結果、契約金額が約1500万円の減額となる見込みとのことでした。

● 当初、掘削土や購入土の使用を計画していた箇所において、福島県発注工事の建設残土や浄化センターの仮置土を土質検査した結果から、採取土として使用する等した結果、契約金額が約1500万円の減額となる見込みとのことでした。

空き家対策

● 実態調査
令和8年度に空家実態調査として、候補抽出・位置特定・所有者特定・所有者意向調査・調査結果整理・GISデータ整備・セミナー開催を業務委託により実施する計画をしているとのことでした。

● 空家実態調査は単年度事業として行い、その後の死亡や転出等に伴うデータの更新は町職員が行うとのことでした。

● 所有者意向調査に際しては、固定資産税の住宅用地の特例など、空き家に係る制度を説明し、適切な判断を促すよう要請しました。



森林機能回復事業の現場の様子



抵抗性クロマツ